

2012年9月13日

各位

株式会社みずほフィナンシャルグループ

気候変動に関する調査「CDP2012 Global500」において
「Carbon Performance Leadership Index」に選定

株式会社みずほフィナンシャルグループ（取締役社長：佐藤康博）は、「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）^{※1}」が実施する、企業の気候変動への戦略や温室効果ガスの排出量に関する調査において、温室効果ガスの排出削減活動などが評価され、本邦金融機関として初めて「Carbon Performance Leadership Index（CPLI）^{※2}」に選定されました。

※1 カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト（CDP）

企業や都市に対し、環境に関する重要な情報を測定、開示、管理、共有するグローバルなシステムを提供している国際的なNPOです。CDPは、資産総額78兆ドルに達する655社の機関投資家と連携し、企業から温室効果ガスの排出量や気候変動のリスクと機会に対する評価に関する情報を収集しています。

※2 Carbon Performance Leadership Index（CPLI）

世界の大手企業500社を対象に、気候変動に対する戦略や温室効果ガスの排出削減など、気候変動に対して望ましい対策をとっている先進企業が選定されます。2012年は、33社がCPLIに選定されました。

今後も〈みずほ〉は、グループ一体となって自らの事業活動における環境負荷低減に努めるとともに、金融商品・サービスの提供といった本業を通じて、社会全体の環境負荷低減に積極的に取り組んでまいります。

以上